

# 令和7年度 「市長と語る市政懇談会」



## 市政懇談会次第

- 1 開会
- 2 市政運営について（市長）
- 3 地区とりまとめ意見・質問等の回答
- 4 自由意見交換
- 5 閉会



西尾市 LINE 公式アカウント

## 令和7年度「市長と語る市政懇談会」開催日程

開催日	地 区 (小学校区)	会 場
10月1日(水)	一色西部 一色南部	子育て・多世代交流プラザ 〔ふれあいホール〕
11月7日(金)	矢 田	矢田ふれあいセンター 〔多目的ホール〕

●開催時間：午後6時30分～午後8時30分

# 所 信

## 【はじめに】

本日ここに、西尾市議会7月臨時会が開催されるにあたり、今後の市政の舵取りに対する私の所信の一端を申し述べ、議員各位をはじめ、市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

近年、世界各地で「分断」が社会における深刻な危機として認識されていますが、その危機がいよいよ国内にも及んでいると感じます。物事は多面的であり、視点が異なれば見え方も異なるのが通常です。しかし、一面的な見え方に絶対的な価値を置いてしまうと、それとは相容れない価値観や考え方を認めることができなくなってしまいます。相手を徹底的に攻撃したり排除する言動は、そこにある種の爽快感を抱く人もいるのかもしれませんが、それによって物事が良くなるわけでは決してありません。

哲学用語の中に、「アウフヘーベン」という言葉があります。弁証法における基本的な考え方の一つで、日本語では「止揚」と訳されます。意識すれば、対立する考え方があってもそれを否定せず、議論を深める中でそれらを掛け合わせて統合し、より次元の高い答えを導き出すことをいいます。二項対立的な考え方によって「分断」が進む市政ではなく、アウフ

ヘーベンによって前進する市政を目指します。

### 【夢や希望の持てるワクワクする西尾市の実現】

バブル経済崩壊後の日本経済について、「失われた30年」と評される  
ことが多くあります。国際的に見て低成長の時代が長く続いたことは、各  
種の経済的な指標として表れているだけでなく、社会に漂う閉塞感に繋  
がっていると思われれます。

今ある現実を受け止め、それと折り合いをつけながら生活していく姿  
勢も確かに必要です。「夢」や「希望」という言葉を口にすること自体が  
はばかれる時代なのかもしれません。しかし、夢や希望は人生を切り拓  
いていく原動力であり、社会がより良くなっていくための原動力である  
ため、その大切さを正面から訴えていきたいと考えています。

そして、自然に夢や希望を持つことができる社会であるためには、閉塞  
感を打ち破るワクワク感が必要であり、市政を担っていくにあたっての  
最重要キーワードとして、引き続き「ワクワク感」を掲げます。

### 【なせば成る なさねば成らぬ 何事も】

「三重の縁」と呼ばれる強い絆で吉良家と結ばれていた上杉家。その第  
9代当主である上杉鷹山公が、家臣に対して示したとされる心得として

有名な言葉が次の一節です。「なせば成る なさねば成らぬ 何事も 成らぬは人の なさぬなりけり」。現代語訳すれば、「どんなことでも、強い意志を持って挑戦すれば必ず実現できる。無理だと諦めて挑戦をしなければ、実現できない」。

日本は、チャレンジしにくい社会であると言われます。「出る杭は打たれる」という言葉に代表されるように、同質性が求められる文化であること、他の国々に比べて国民の自己肯定感や自己効力感が低いことなど、原因は色々考えられますが、現状を良しとしてはいけません。

個人の人生におけるチャレンジの意義としては、自分自身の成長、価値観や視野の広がり、新たな人との出会いなどがあります。そして、「やらぬ後悔よりやる後悔」という諺があるように、仮に期待したような結果が得られなかったとしても、一歩踏み出してチャレンジした方がより豊かな人生に繋がると考えます。「なせば成る なさねば成らぬ 何事も」の精神が根付き、「西尾にいとチャレンジがしやすい」、「西尾に行けばやりたいことが形にできる」、そんな声が飛び交うまちになれるよう、市民の皆さんや、市の抱える地域課題の解決に関心を持つ企業・団体のチャレンジを応援する仕組みを整えてまいります。

また、「なせば成る なさねば成らぬ 何事も」の精神は、市政を担っていく上でも必要なものであり、「できない理由」を探すのではなく、「で

きる方法」を考える姿勢とも相通じるものです。変化が速く不確実性の高い昨今のような社会状況においては、経験則やこれまでの常識が通用しないことが多々あります。そのような中でも成果を出していくためには、積極果敢なチャレンジが欠かせません。「できない理由」を探して現状に甘んじることなく、「市民のために」という強い意志を持ち、様々な事業に前向きにチャレンジしていける組織を目指します。

### 【居場所づくり】

夢や希望の持てるワクワクする西尾市を実現していく上で必要なこととして、『動』に当たるのがチャレンジの推進とすれば、土台として機能し、『静』に当たるのが居場所づくりです。自分の居場所を見出せないような状況では、夢や希望を持つことは困難だからです。

単身世帯の増加やインターネットの普及などに加え、プライベートな事情に干渉しない考え方が一般化してきていることもあり、家族、地域、職場などにおける人と人との繋がりが希薄化しています。孤独・孤立を感じる人が一定数いることは、国の調査でも明らかになっており、心身に有害な影響を与えるリスクがあることから社会的な課題として認識され、令和6年4月1日には孤独・孤立対策推進法が施行されています。近年の状況を一言で言うなら、SNSをはじめとするネット環境でのコミュニ

ケーションよりも濃く、だからと言って「しがらみ」と感じない範囲での自分の居場所を求めている人が多いということではないでしょうか。昭和の時代とは異なる形で繋がりを再構築し、今の時代に合った居場所づくりを進めてまいります。

### 【市政運営から市政経営へ】

明治維新以降、地方は国の出先機関のような機能を長らくの間担ってきました。日本国憲法の制定によって地方自治が保障され、1990年代には地方分権推進法が制定され、時代の流れとともに地方自治も進化を遂げてきました。

これからの時代は、人口減少の速度に拍車がかかり、高齢化もさらに進むことで、社会全体の労働力が減少し、国内のマーケットも縮んでいきます。また、生き方や価値観の多様化に伴い、行政需要はますます高まっていくと予想されます。財政状況が厳しさを増すことが見込まれる中でも質の高い市民サービスを維持していくためには、地方自治はさらに進化していかなければなりません。

地方自治体が社会全体の利益を追求するのに対し、民間企業は一義的に利潤を追求するため、存在意義や求められる役割は異なります。企業の世界では当たり前な経営感覚は、行政の世界では無縁のものと思われて

いる節もあるように感じます。しかし、厳しい競争環境に打ち勝っていくためにも、民間企業とは同じレベルではないとしても、経営感覚を活かした「行政経営」を力強く進めていくことが必要だと考えます。「市民本位」、「コスト意識」、「成果」をキーワードに、組織として経営を意識して行動するための仕組みを整え、組織力の向上を図ります。

### 【ダウンサイジングと合意形成】

西尾市が抱える最大の課題の一つである公共施設の再配置。それを目的とした西尾市方式PFI事業については、様々な問題を内包していたことから契約解除に至り、現在は終局的解決に向けて提起された訴訟の場において審理が進められています。契約前から続いた一連の混乱を通じての一番の教訓は、市民との丁寧な合意形成の必要性であり、これを今後の再配置に活かしていかなければなりません。

そして、ハード事業に限らず、ソフト事業も含めた市政全般について、「なんでもやります」と風呂敷を広げてもある程度通用した時代から、広げた風呂敷をどう畳んでいくのかという時代に移り変わってきていますが、頭では分かっているにもかかわらず、自分自身が利害関係者になると簡単に納得できないのが人情でもあります。合意形成における特效薬はないことを肝に銘じ、様々な声を真摯に受け止めながらダウンサイジングの必要性を

丁寧の説明し、個々の事業において合意形成を進めてまいります。

### 【教育は国家百年の大計】

地方創生の号令がかかって10年が経過しました。このムーブメントは、人口減少への強い危機感から始まったもので、この間、人口減少を食い止めるため、あるいは人口を増加させるために、全国の地方自治体は知恵を絞り、試行錯誤を続けてきました。地方創生の本質は、各地域がそれぞれの特徴を活かして、自律的、持続的な社会をつくることにあります。横並び意識から脱却するという意味では一定の意義があったと考えますが、次第に人口の奪い合いの様相を呈し、「子育てしやすいまち」を標榜する中で、多額の財政出動によって人口流入を促そうという傾向が強まっていったと感じています。

子どもたちは社会の宝であり、教育や子育てに係る経済的な負担を軽減していくことは社会的な要請でもあります。西尾市も方向性を同じくして、これまで様々な取り組みを実施してきました。しかし、経済的な負担の軽減ばかりに関心を寄せるのではなく、子どもたちにこれからの時代を生き抜いていく力を身に付けてもらうために、教育はどうあるべきかということについても、もっと考えるべきではないでしょうか。

教育は国家百年の大計です。地域や国がこれからも発展し、世界に冠た

る日本を築いていくためには、人材への投資が欠かせません。西尾高校の中高一貫教育の導入を間近に控え、市内での教育熱が高まる中、考え方や目指す姿等を教育委員会と共有しながら、主体性をはじめとする非認知能力の育成にも力を入れ、質の高い教育を推進します。

### 【真の地方創生に向けて】

市内外の方々から高い評価をいただいている事業の一つが、中心市街地活性化の取り組みです。中心市街地は、ビジネスや生活に関わる様々な機能が集積し、「まちの顔」としての役割を持つエリアですが、全国的に地方都市における中心市街地の空洞化が進み、数年前までは西尾市でも例外ではありませんでした。

市の中心市街地の中核をなす商店街は、玄関口である名鉄西尾駅から少し離れており、西尾駅の乗降客数自体も他の主要なターミナル駅と比較して多いとはいえないため、このような場所にある中心市街地の活性化は、正直容易ではありません。それにも関わらず、市の補助金を活用した件数だけを数えても、直近3年間で13もの店舗が新たにオープンし、今年度もこれまでを上回る出店希望の問合せをいただくことができているのはなぜか、そこに真の地方創生の鍵があります。

決して奇をてらうようなことをしたわけではありません。目的を明確

にする。目的達成に向けての目標を設定する。目標を達成するための手段を決め実行する。こうした一つひとつのプロセスにおいて、担当の職員が幅広く情報を収集して緻密かつ徹底的に考えるとともに、現場に何度も足を運んで同志となる民間プレイヤーとの信頼関係を構築しながら、強い意志と情熱を持って行動することができたからだと考えています。言ってみれば、凡事徹底の結果です。

西尾市は、製造業の集積、多種多様な農業の営み、豊富な観光資源など、地方創生を進めていく上で多くの強みを持っています。凡事徹底によりそれらの強みを活かした魅力を磨き上げ、真の地方創生を推進してまいります。

#### 【おわりに】

以上、市政経営に対し、私が重きを置く考え方について述べさせていただきました。所信表明の中で申し上げられなかった具体的な施策については、今後の施政方針や予算などでお示しさせていただきたいと存じます。

議員各位をはじめ、市民の皆様におかれましては、格別のご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます、所信表明とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。



# 人が輝き、まちが躍動する、共生・共創のまちづくり

## 新たな魅力に挑戦するまち

〔観光、歴史文化、スポーツ、商工業、農水産業、地域ブランド〕

- ・「にしおマラソン」を開催し、地域資源のPRを図りながら、スポーツによる観光誘客を推進
- ・総合体育館のメインアリーナを始めとした改修工事が完了し、11月8日にリニューアルオープン予定
- ・8年度開催のアジア競技大会の機運を盛り上げるため、全日本社会人ボクシング大会を実施
- ・4月に、全8面の砂入り人工芝の「西尾市きららテニスコート」を吉良町駸馬に開設
- ・旧一色町役場跡地を最適地として、「屋内温水プール整備基本計画」を策定
- ・「にしおまちなか未来ビジョン」に基づき、官民連携で中心市街地の賑わいを創出
- ・「西尾未来共創拠点ニコラボ」の専門アドバイザーの充実や定期的なセミナー、イベントの開催
- ・「BiZCON NISHIO」を実施し、地域課題の解決と高校生がビジネスプランを学べる機会を提供
- ・総額1億円のデジタルクーポン「にしお得一ポン」を発行
- ・地域農産物の価値向上とブランド化の推進、畜産農家物価高騰対策支援の実施、アサリ稚貝放流量増加の支援拡充
- ・一色さかな広場との連携を強化し、一色漁港エリアを活性化
- ・岩瀬文庫企画展開催100回を記念し、NHK大河ドラマ「べらぼう」の放映に合わせた特別展を開催
- ・【国登録文化財】岩瀬文庫旧書庫と図書館おもちゃ館の修理工事に着手するとともに、隣接する池周辺を整備
- ・西尾城大手門跡を整備し、城下町散策ルートの中継地点や中心市街地における集いと賑わいの場として有効活用
- ・観光資源同士をつなぐ周遊を促す仕掛けづくり、ベイエリアの豊かな資源の魅力や潜在的な力を生かした事業などを展開し、観光による地域振興を推進
- ・市内観光事業者支援のため、西尾市観光協会が実施するプレミアム付き観光券発行事業を支援

## 誰もがほっとする持続可能なまち

〔道路、公共交通、市街地、公園・緑地、上水道、下水道〕

- ・名鉄蒲郡線の令和9年4月からのみなし上下分離方式への移行に向けた協議及び国の社会資本整備総合交付金の活用に必要な鉄道事業再構築実施計画の策定
- ・一色地区での相乗りタクシーの運行開始
- ・西尾駅高架下に駐輪場を整備
- ・上横須賀駅周辺の土地区画整理事業予定区域の現況測量及び概略設計を実施
- ・9年4月の供用開始を目指し、西尾駅東駅前広場を整備
- ・西尾寺小南土地区画整理事業の支援
- ・一色町地内に、新たに大塚松木島公園を整備
- ・国道23号名豊道路岡崎バイパス及び衣浦岡崎線の全線4車線化推進、安城一色線の上町・下町、米津町・南中根町、一色町諏訪神社～国道247号の早期整備完了、名浜道路の事業推進を関係機関に要望
- ・細池須脇6号線、斉藤市子6号線、江原室町線、佐久島38号線、上町道光寺線などを整備
- ・水道水の安定供給のため、指定避難所等までの管路の耐震化、法定耐用年数を大幅に経過した管路の更新を計画的に実施



吉良中学校校舎 イメージ図

## ともに楽しみ、ともに学び、ともに夢みるまち

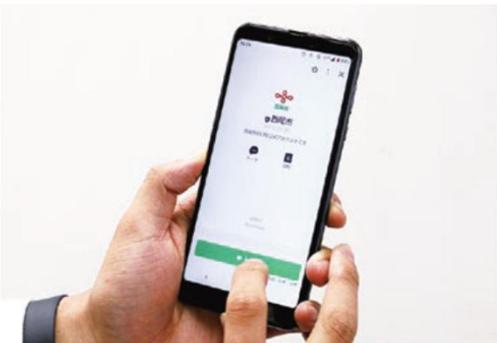
〔子育て、学校教育、生涯学習、子ども・若者の育成支援〕

- ・9年4月のオープンに向けて「生涯学習センター(仮称)」建設工事を開始
- ・未婚晩婚化対策として、マッチングアプリを活用した出会い応援、「にしおde婚活」の開催、「(仮称)婚活おせっかいマスター制度」及び「(仮称)婚活協力店認定制度」の創設
- ・放課後児童クラブの運営業務の一部を民間事業者へ委託し、開所時間の夜7時までの延長など保育の質を向上
- ・子ども・若者の意見を施策に反映させるため「こども会議」を開催
- ・国の「妊婦のための支援給付」制度に加え、市独自に「出産祝い金」を支給
- ・切れ目のない相談支援を行う機関として「こども家庭センター」を設置し、安心して子育てができる環境を整備
- ・民設による平坂保育園建替の支援、福地南部保育園園庭及び駐車場の整備
- ・児童生徒一人ひとりの個に応じた能力・資質を伸ばす「きめ細やかな教育」を推進し、特別支援教育等に携わる人材の配置を拡充
- ・日本語初期指導教室カラフルの指導支援員の増員、旧三町地域の吉田小学校内に市内2箇所目となるカラフル吉田教室を設置
- ・幼保小の育ちや学びをつなぐ架け橋プログラムとして、保育者が小学校の公開授業へ参加
- ・中学校の部活動指導員を平日にも導入、スポーツ協会や文化協会などと連携して段階的な部活動の地域移行を推進
- ・教職員への研修実施や各校に助言するアドバイザーを新たに配置し、教職員の指導力や技能を向上させ、ICT教育を推進
- ・9年4月の供用開始に向け吉良中学校の校舎改築工事を開始
- ・西野町小学校の校舎長寿命化工事、西尾小学校、矢田小学校、福地南部小学校、福地北部小学校、津平小学校の特別教室等の空調設備整備工事の実施
- ・小中学校や保育所等の給食食材費物価高騰分を公費負担
- ・10年度までに、全蔵書へICタグを貼付し、貸出・返却等のセルフサービス化及び蔵書管理の効率化による図書館サービスの充実を目指す

## 健康をつなげ 幸せがつながるまち

〔地域医療、健康づくり、高齢者福祉、障害者福祉、社会保障〕

- 市民の多様な生きづらさを受け止めて支援する「～すべての人のために～つながりの輪支えあい事業」に8年度から移行する準備として市役所会議棟1階に「つながりの輪サポートステーション(仮称)」を開設するための改修工事を実施
- 孤独・孤立化や居住・就労等幅広い支援ニーズの受け皿となる地域の社会資源発掘のための実践実験の実施
- 市民病院でロボット支援手術の運用開始、泌尿器科の医療体制充実を目指して常勤医師を配置
- 7年度スタートの「健康にしお21計画(第3次)」に基づき、主に生活習慣病予防、歯・口の健康、こころの健康の各分野における健康増進や疾病予防を目指す
- 西尾市民げんきプラザの土曜日開館の実施
- 中学3年、高校3年相当の年齢を対象に、インフルエンザワクチン接種費用を一部助成
- 地域包括支援センターの認知症地域支援推進員配置の充実、行方不明になる心配のある方の位置情報検索サービス導入費用補助制度の新設
- スーパーマーケットと協定を締結し、巡回する移動販売車による高齢者等の買物支援と見守り活動を充実
- 障害児とその家族への丁寧な対応のため、総合相談窓口「障がい者相談支援所」を増設
- 国の臨時交付金を財源として、6年度住民税非課税世帯に対する給付金を7年3月から支給



## いのちを守る 暮らしを守る 環境を守るまち

〔自然環境、河川・海岸、地球環境、環境衛生、防災・災害対策、防犯・交通安全、消防〕

- 国・県の計画改定を受け「国土強靱化地域計画」を改定
- 全市域を対象とする総合的な雨水対策の方針と取組を示す「西尾市雨水対策マスタープラン(仮称)」を策定
- 小栗地区及び一色町藤江地区に津波避難タワーを整備、旧離島保育園に屋外階段や屋上すりを整備、寺津漁港海岸の堤防耐震化を継続的に実施
- 北浜川や二の沢川等の河川改修の早期事業推進を県に要望
- 「西尾市犯罪被害者等支援条例」を制定し、4月から犯罪被害者等への支援金制度などを実施
- 太陽光発電設備やリチウムイオン蓄電システム等の設置及び電気自動車等の低公害車の購入に対する補助、公共施設照明のLED化の推進、中小企業を対象とした脱炭素経営セミナーの開催
- 「地球温暖化対策実行計画」を改定し、温室効果ガス排出量の実質ゼロ(ゼロカーボンシティ)に向けた取組を強化
- 5年度実績で一人一日当たりの家庭ごみ排出量県内ワースト1の返上を達成。更なるごみ減量に向け、雑がみ分別の推進、LINE等での情報発信などを行い資源分別の周知を実施
- 官民連携事業として、使用済衣類等回収ボックス「PASSTO(パスト)」を市内に設置し、リユース(再使用)を推進
- 8年度からのプラスチック資源の一括回収及びリサイクルの実施を目指して、各小学校区で住民説明会を実施
- 「ごみの分け方・出し方ガイドブック」を更新し、全世帯へ配布
- 広域ごみ処理施設の12年度供用開始に向け、施設の整備運営を行う事業者を選定
- クリーンセンターの延命化を図るための設備更新工事を実施
- 管理棟等の解体工事に伴い、環境部の事務所を浄化センター等へ移転、リサイクルプラザを旧離島保育園で運営
- 一色町生田地区の産業廃棄物最終処分場建設計画に関する正確な情報の発信
- 消防本部消防署庁舎のトイレ洋式・乾式化、屋上・外壁などの補修や設備更新、各部屋の使用用途変更、消防署西分署の移転に向けた候補地の測量、耐震性貯水槽の整備
- 地域防災力向上のため、消防団員を小中学校の防災学習への講師として派遣、自主防災会との合同訓練の実施

## 誰もがキラキラと輝き、誇り・愛着の持てるまち

〔パートナーシップ、デジタルトランスフォーメーション(DX)、シティプロモーション、コミュニティ、行財政運営〕

- 官民連携による地域課題・行政課題の解決のため、テーマを決めて民間事業者等から提案を公募
- 「市有財産有効活用民間提案制度」により効果的な市有財産の利活用を推進し、地域の活性化と市民満足度の向上を目指す
- にしおSDGsパートナー登録企業・団体のマッチングを促進し取組を強化、「SDGs AICHI EXPO」への出展や「SDGs17(いーな)にしお」での情報発信など、市全体にSDGs推進の機運を醸成
- 「らくっと窓口」の端末増設及び事前申請機能の追加、証明書発行手数料等のキャッシュレス決済手段及び二次元バーコード決済種類の拡充
- 保育園・幼稚園、小中学校でのICTツール利用可能書類の拡充
- 電子契約の導入、国が定めた標準仕様書に適合した情報システムへの移行
- 業務量調査結果を活用するため職員研修を実施
- インターネット広告、関東圏を対象にしたイベント等への出展などによるふるさと納税の推進
- 市政に対する意見や要望を聴き、まちづくりに生かすための各種懇談会の開催
- 国勢調査の負担軽減のため、オンライン回答を勧奨
- 市LINE公式アカウントへの自動翻訳機能の導入により、情報発信を多言語化
- 外国人のキーパーソンを発掘・育成する取組など、「西尾市多文化共生推進プラン」に基づく、多様性を生かした施策の展開
- 「ワクワク西尾創生コンテスト」で提案された、夏休みに親子で参加できるイベントなどの開催
- ファシリティマネジメント推進会議を中心とした、公共施設再配置の推進
- 西尾市方式PFI事業の契約解除に伴う損害賠償について、「納得感」と「スピード感」を重視した終局的解決に向けて取り組む

一人ひとりをかけがえのない存在として尊重し、誰もが自分に居場所があると感じ、輝くことができる社会へ

## 市長政策目標【マニフェスト】一覧表

No.	政策目標（マニフェスト）	部局名	課名
<b>1</b>	<b>子育て支援、教育</b>		
① 重点	通院医療費の無償化対象を18歳到達の年度末までに拡大するとともに、第二子以降の保育料を無償化し、経済的な負担の軽減を図ることで安心して子育てできる環境の整備に取り組みます。	健康福祉部	保険年金課
		子ども部	保育課
② 重点	夏場の猛暑対策として、小中学校の特別教室へのエアコン設置が完了次第、体育館へのエアコン設置を進めます。	教育委員会	教育庶務課
		交流共創部	スポーツ振興課
③	保護者が子どもと向き合う時間を増やすため、ワンコインで家事代行サービスを利用できる制度を創設します。	子ども部	子育て支援課
④	保育士の増員に取り組み、育休退園をしなくてもよい体制整備に努めます。	子ども部	保育課
⑤	保育園・幼稚園の園児や小学生の非認知能力を伸ばす取り組みを強化します。	子ども部	保育課
		教育委員会	学校教育課
⑥	中学生の主体性を伸ばす取り組みとして、生徒発案の事業を実現するための補助金制度を設けるとともに、アントレプレナーシップ教育を強化します。	教育委員会	学校教育課
⑦	子どもたちの夢や目標へのチャレンジを応援するとともに、将来のキャリアについて考えるための機会を提供する「夢へのチャレンジ応援事業」を創設します。	教育委員会	生涯学習課
⑧	子育てにおける正しい情報を学べるよう、「親学」を推進します。	教育委員会	生涯学習課
⑨	子どもたちの居場所となる子ども食堂や、それを支えるフードバンクへの補助を充実させます。	健康福祉部	福祉課
		子ども部	子育て支援課

No.	政策目標（マニフェスト）	部局名	課名
<b>2</b>	<b>医療、介護、福祉</b>		
① 重点	地域共生社会の実現に向け、福祉的な支援を包括的に行えるよう、断らない福祉窓口の設置をはじめとする重層的支援体制の整備を進めます。	健康福祉部	福祉課
② 重点	施設が老朽化してきている市民病院について、医療の充実とさらなる経営改善を進めるため、新病院の建設や経営形態のあり方について方向性を打ち出します。	市民病院	管理課
③	特定不妊治療と共に実施した先進医療について、新たな助成制度を創設します。	健康福祉部	健康課
④	早期発見・早期治療に繋げるため、がん検診の受診率向上に取り組みます。	健康福祉部	健康課
⑤	健康寿命を延ばすため、フレイル（加齢により心身の機能が衰える状態）予防の取り組みを強化します。	健康福祉部	長寿課 健康課
⑥	窓口の設置や手続きの代行など、身寄りのない高齢者の生活支援をするための制度を創設します。	健康福祉部	福祉課 長寿課
⑦	認知症発症のリスクを抑えるため、中程度の加齢性難聴者の補聴器購入に係る補助制度を創設します。	健康福祉部	長寿課
⑧	障害者・障害児支援に取り組む関係機関の連携を深めるとともに、西尾市地域自立支援協議会の体制を強化し、当事者を置いていない支援体制を構築します。	健康福祉部	福祉課

No.	政策目標（マニフェスト）	部局名	課名
<b>3</b>	<b>産業、観光、スポーツ、文化</b>		
① 重点	有機農業の普及とオーガニック給食の導入を将来的な視野に入れ、化学肥料や農薬の使用量が少ない、環境負荷の低い農業を推進します。	産業部	農水振興課
② 重点	吉良温泉エリアの観光ビジョンを作成し、官民挙げてさらなる活性化に取り組むことで、市内観光の核として誘客を図ります。	交流共創部	観光文化振興課
③	民間活力を活かしながら、西尾市の顔となる中心市街地（西尾駅周辺エリア）における、さらなる賑わい創出に取り組みます。	産業部	商工振興課
④	道の駅にしお岡ノ山については、慢性的な駐車場不足に加え、国道23号線が全線開通し今後の交通量の増加も見込まれることから、駐車場と売り場の面積を拡張します。	交流共創部	観光文化振興課
⑤	アジア版オリンピックともいえる、アジア・アジアパラ競技大会の開催を契機に、観光・産業・人材交流等の面から持続可能な国際交流活動に取り組みます。	総合政策部	秘書政策課
⑥	市民プールの機能と学校のプール授業の機能を併せ持った、新たな温水プールを一色地区に建設します。	交流共創部	スポーツ振興課
⑦	多種多様な農業が営まれている西尾市の強みを活かすとともに、稼げる農業へと成長させていくため、JA西三河と協力して農業総合計画を策定します。	産業部	農水振興課
⑧	下水処理の管理運転の有効性を県に対し引き続き訴えるとともに、国・県の補助制度を積極的に活用してアサリ資源の回復に努めます。	産業部	農水振興課
⑨	人材の確保が問題として深刻化する中、地域経済を支える地元の中小企業や小規模事業者と地元学生との相互理解を深め、地元への就職を促進します。	産業部	商工振興課

No.	政策目標（マニフェスト）	部局名	課名
<b>4</b>	<b>インフラ整備、環境、防災、防犯、消防</b>		
① 重点	豪雨や台風による被害を軽減させるための雨水排水対策を強化します。	建設部	河川港湾課
		上下水道部	下水道整備課
② 重点	名鉄上横須賀駅周辺エリアで区画整理事業を立ち上げ、人口減少の克服と職住近接の暮らしやすいまちづくりに取り組むとともに、名鉄西尾・蒲郡線（にしがま線）の利用促進にも繋がります。	都市整備部	都市計画課
③	名鉄蒲郡線の「みなし上下分離方式」での運行について名鉄と協議を進めるとともに、名鉄西尾・蒲郡線（にしがま線）全体のさらなる利用促進に取り組みます。	市民部	地域つながり課
④	「つくる」だけでなく「つかう」ことを意識しながら、西尾駅前広場や総合グラウンド横にある西尾公園をはじめとする公園・広場の整備に取り組み、子どもたちが伸び伸びと楽しく遊べる居場所づくりを計画的に進めます。	都市整備部	公園緑地課
⑤	食品ロスの更なる削減や、紙おむつのリサイクル体制確立に向けた調査研究をはじめ、家庭系ごみと事業系ごみのさらなる減量に向けた取り組みを強化します。	環境部	ごみ減量課
⑥	一色町生田地区の産業廃棄物最終処分場建設問題については、引き続き事業者に対し白紙撤回を求め、住民団体や地場産業関係者と連携しながら解決に向けて努めます。	環境部	環境保全課
⑦	災害備蓄品を効果的・効率的に管理するため、管理業務の民間委託を進めます。	危機管理局	危機管理課
⑧	消防団への加入促進に向けたPRや地域・企業への働きかけを強化するとともに、実際の任務に支障が出ないよう考慮しながら消防団員の負担軽減に取り組めます。	消防本部	消防総務課
⑨	要望として多く寄せられる箇所における雑草の生育状況を踏まえ、先進的な技術の活用も図りながら費用対効果の高い方法を研究し、全体最適の視点で道路や公園の除草に取り組めます。	建設部	土木課
		都市整備部	公園緑地課

No.	政策目標（マニフェスト）	部局名	課名
<b>5</b>	<b>その他</b>		
① 重点	「市民本位」「コスト意識」「成果」をキーワードに、「経営」を意識する仕組みを構築し、厳しい財政状況でも質の高い市民サービスを提供できるよう組織力を底上げします。	総合政策部	秘書政策課
		総務部	財政課
② 重点	「行かない」「書かない」「待たない」窓口を目指してDX（≒行政サービスや業務のデジタル化）を進め、市民にも職員にも恩恵が実感できる取り組みを大胆に推進します。	総合政策部	情報政策課
③	変化の速い時代に対応できるよう年功序列にとらわれない人事制度の運用に取り組むとともに、スピーディな意思決定ができるよう役所組織のフラット化に取り組みます。	総合政策部	人事課
④	将来的な財政規律を維持するため、公共施設の再配置を加速化させるビジョン・計画を策定します。	総合政策部	秘書政策課
		資産経営局	資産経営課
⑤	市役所や支所の開庁時間について、実証実験の実施を行いながら短縮を検討していきます。	総合政策部	人事課
⑥	デジタル地域通貨や図書館利用カードなど、様々な観点からマイナンバーカードの活用方法を調査研究し、所持することによる利便性や付加価値の向上に取り組みます。	総合政策部	秘書政策課 情報政策課
⑦	空き家の有効活用を図るため、市も主体的に関わりながら空き家バンクの充実と流通促進に取り組みます。	市民部	地域つながり課
⑧	西尾市の活性化に資する市民公募事業を常設化します。	総合政策部	秘書政策課

